

令和7年度 呉小学生バレーボール連盟 運営基本方針

「ど真ん中に子どもがいる日小連」の基本理念のもと、呉小バ連も選手のための組織づくりや大会運営を目指す。選手を尊重し、小学生の子どもたちが成長したとき、生涯にわたって「バレーボールをやってよかった」、「バレーボールを続けたい」、「バレーボールに関わりたい」と思える環境づくりに取り組む。

令和7年度は、選手育成・強化のために、各種団体と連携し取組を具体化していく。また「広島ジュニアバレーボール大会」(2月)を呉地区で開催することにより、県内外のトップレベルを間近で見て感じ、学ぶ良い機会としたい。

自チームの選手の育成・強化はもとより、「呉の子は呉で育てる」よう呉地区事業運営等に携わり一体感を持って当たる。そのために連盟組織にしっかり携わり、一層の普及・強化と発展のために、努力していくことを誓い合いたい。

○ コンプライアンスの徹底

県小バ連のコンプライアンス規定に従い、指導上起こる体罰・暴力・セクハラ等の禁止事項を、あらゆる機会を通じて指導者に対し徹底する。万一事案が発生した場合は、該当者、チームに対して厳しいペナルティーを科す。

○ 競技・試合ルールを遵守し、フェアプレイを尊重する体制づくり

各種講習・研修会への積極的参加を通し、ルール徹底、審判技術と競技運営力を向上させる。また、チーム関係者や保護者の協力も得て、相手チームや審判等に対して敬意を払うフェアプレイ精神の下、子どもたちにとって充実した楽しい大会にしていく。

○ 普及・強化学業の拡充

今後のバレーボール界の発展を考え、「広島ジュニア大会」の呉地区開催により普及・強化学業を積極的に進め、バレーボール人口拡大と将来のトップアスリートの発掘や強化を進める。

○ 広報活動の充実

本連盟が主催する大会要項や試合結果、登録にかかわる手続き等をホームページに随時掲載し、一層の広報活動を充実する。

○ 持続的な組織体制づくり

組織体制の維持・強化のために、各役員・担当の役割の明確化と効率化、構成員の長期展望に立った人材育成を進める。